



文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
(女性リーダー育成型) 2026年度研究力伸張セミナー

研究の質を高める 統計学のチェックポイント

観察研究の落とし穴とTarget Trial Emulation

注意したい
代表的な落とし穴とは？



もし同じ研究課題を
ランダム化比較試験として
実施するとしたら？

**参加費
無料**

2026年

10月29日 木 17:00 - 18:30

開催形式 オンライン・オンデマンド配信

対象 徳島大学・四国女性研究者活躍推進ネット
ワーク参画機関 | 教職員・大学院生・学生

講師：
吉田 寿子氏

大阪公立大学医療統計学 准教授
大阪公立大学医学部附属病院
臨床研究・イノベーション推進センター
データサイエンス部門長
システム管理部門長

無作為化比較試験の実施が困難な場合、コホート研究をはじめとする観察研究が重要な役割を果たします。一方、観察研究では、交絡や選択バイアス、immortal time biasなど、解析方法だけでは十分に解決できないさまざまな問題が生じることがあります。

本講演では、具体的な例を用いながら、観察研究を計画・解析・解釈する際に注意したい代表的な落とし穴について解説します。さらに、「もし同じ研究課題をランダム化比較試験として実施するとしたら」という視点から観察研究を考えるTarget Trial Emulationの基本的な考え方について紹介します。

お申込み



申込み〆切：10月27日（火）

<https://forms.cloud.microsoft/r/L0aTagx0h3?origin=lpLink>



徳島大学
AWAサポートセンター

<https://www.awasapo.tokushima-u.ac.jp/>